

第3回 小山町 絆を感じる料理コンテスト

♪ 受賞作品とアピール作文をご紹介します ♪

<p>☆☆☆ 金賞</p>	 <p>料理名:絆 キラキラ 夏野菜 応募者:岩田 早苗</p>	<p>私は吉久保の日吉会に入っていますが、会では東日本大震災後の5月にじゃがいも3種と、とうもろこし2,000本を植えました。その野菜の売上金を義援金にし、12月には義援金とこのデザートを被災地にお届けできればと思っています。</p> <p>老人会にも野菜を提供して頂き、初めて7月、8月に7回ほど日吉会で青空市を開催しました。皆での作業や店番、お客さんとのやりとり、ご協力頂いた地域の方など多くの人との関わりに絆を感じ、日吉会で作ったじゃがいも、とうもろこしを使って絶対に形にしようと思いました。他の農産物は我家の自家製です。</p> <p>素材そのものの味、おためしあれ。</p>
<p>☆☆☆ 銀賞</p>	 <p>料理名:お菓子なポテト 応募者:小沢 丸美</p>	<p>今回で3回目の応募で、子どもや家族に美味しい料理を作るのが楽しみで、食がこんなに家族の絆を深めてくれるとは思いませんでした。</p> <p>小学生の娘2人が学校から帰ってくると「ねえお母さん。今日のおやつは何？」が日課です。しかし夏休みに入ると「一緒に手伝っていい?」「自分たちで作っていい?」に変わります。娘たちの成長を“嬉しい”と思う反面、少し“寂しさ”も・・・。</p> <p>最近では、もうすぐ3歳になる長男も参加したがるようになりました。「3人仲良く」とはいきませんが、料理をする姿を見ていると、微笑ましい私達(夫婦)です。</p> <p>じゃがいもは栄養価もあり腹持ちも良いです。子どもたちと一緒に何かできるこのコンテストを毎年楽しみにしています。</p>
<p>☆☆☆ 銅賞</p>	 <p>料理名:(ばあばの水菜入り)にこまん 応募者:齊藤 叶</p>	<p>私の家族は3世代11人いて、月に1度は家族みんなで集まりワイワイ騒いでいます。それが一番の家族の絆につながると思います。</p> <p>ばあばの水菜の油いためは、我家のひそかな人気メニュー。そして、お母さんの得意なパンの生地作り。</p> <p>その2つを孫の私が合体させて、ニコニコ笑顔のおまんじゅう、「ニコまん」が完成しました。残りの男子、じいじ、お父さん、お兄ちゃん達にも、大好評です。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">入賞</p>	 <p>料理名:ずんだ餅 応募者:小野 文子</p>	<p>私は福島県出身で郷土の味「ずんだ餅」を紹介し ます。</p> <p>昔は枝豆の収穫はお盆の頃で仏様（お盆様という） に供える仏料理であります。その頃は、家族全員で大 きなすり鉢に輪を作り、おばあちゃんを先頭に、ずん だ餅を作りました。</p> <p>今年のお盆は東北で起きた東日本大震災のため多く の人を亡くし、このずんだ餅を仏様に供え冥福を祈っ たことでしょう。</p> <p>夏の枝豆は味があるので、よくすり潰すことで味が 引き立つので、豆の素材を充分取り入れました。</p> <p>今では我家も孫と一緒に輪を囲み、このずんだ餅を 作りながら絆を深めています。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">入賞</p>	 <p>料理名:田園水菜だんご 応募者:K. S. T (代表:込山 奈央)</p>	<p>今年で3年目となり今回のK. S. Tは、姉妹でチ ャレンジしました。小学校と中学校にそれぞれ通う時、 農家の方々がいっつも見守ってくれています。そして、 ありがたいという思いで、今回は地元の農家、家族、 友だちとの絆をアピールします。</p> <p>食材を考えた時に迷わず、お米と水菜が浮かびまし た。気が付いた頃には当り前のように、ごはんの時に 水菜漬けが出ます。水菜のピリッとした辛さ、水菜の 優しい味。子どもでも大人でも食べられる優しい、ふ るさと団子で、小さな方でも作れるので絆は深まりま す。</p> <p>みたらしをかけて、さあめしあがれ！</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">入賞</p>	 <p>料理名:みたらしワサビ団子 応募者:湯山 晃子</p>	<p>毎日毎日、私たち子どもたちのために、家族のため に、力仕事や立ち仕事をして頑張ってくれている両親 には、感謝と敬意の気持ちを忘れないようにしていま す。それでも、高校生の私は自分のことで手一杯にな り、感謝の気持ちを忘れることも多々あります。</p> <p>今回応募するにあたり、昨年台風の被害を受けたワ サビ農家の皆さんのことを思い、ワサビ団子を思いつ きました。料理を作る、気持ちを形にし、両親のこ とを考えて作ってみたら、そのとき絆を再確認できた 気がしました。そして「おいしい！」という感想が聞け たときは嬉しく思いました。それが「絆」だと思いま す。みたらしをかけることでワサビのジーンとした感 じも和らぎます。またゴマをふりかけたり、きざみし ょうがをタレに入れてみたり、仕事を頑張る両親にも 健康に良いものをとアレンジしてみました。そして昨 年の台風で大きな打撃を受けたワサビ農家の皆さん頑 張ってください！</p>

<p style="text-align: center;">入賞</p>	 <p>料理名:抹茶カステラ 応募者:臼井 きみよ</p>	<p>私の実家は福島県で、妹が10年前に大阪から転勤してきた時に、カステラの作り方を教わりました。</p> <p>家族に出すとお母さんの焼いたカステラは買って食べるより美味しいと言ってくれます。</p> <p>2人の息子からは「俺も一緒にやるよ!」「友達にもあげたいから持って行っていい?」「しっとりとしたカステラをまた焼いて」「友達が来るから一緒にカステラを作ろう」と言ってくれます。</p> <p>手作りは工夫と愛情をいっぱい注ぐことができ、また人から人へ教え合うことで絆が広がります。</p> <p>絆を感じる料理コンテストに魅力を感じ今回応募しました。</p>
<p style="text-align: center;">入賞</p>	 <p>料理名:水菜のパウンドケーキ 応募者:高杉 順子</p>	<p>我家は農家でお米、水菜を作り水菜の時期は収穫・漬物・発送と家族全員で休む間もなく作業をしていました。</p> <p>しかし昨年の台風で田畑が全部流失してしまい、現在は何もできない日々を送っています。でもこの様に協力して作った水菜を使って何かお菓子ができないかと考えて、水菜の味や特徴を活かすことに苦労しましたが、家族みんなの気持ちがつまった、お菓子を作ることができました。</p> <p>今では孫もでき家族も増えたので、家族の絆をより一層深めたいです。そして1日でも早く復旧をして欲しいと思っています。 家族バンザイ!</p>

※入賞は、応募受付順です。

表彰式のお知らせ

表彰式は、小山町産業祭オープニングセレモニーで行います。

日時:平成23年10月30日(日)10:00~10:30

会場:総合文化会館特設ステージ